

平成30年7月8日
今週のベストショット



雁レク7 和白新町パイレーツ 対 奈多サンデーズ戦

最終回二死と追い込まれながら、代打で同点二塁打を放つ奈多サンデーズ野田選手。

写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎

雁レク7 奈多サンデーズ、最終回到3点差を追いつきドローに。

和白新町パイレーツ（3勝2敗1分）0 1 2 0 1 0 4 吉田一沖田

奈多サンデーズ（2勝3敗1分）0 0 1 0 0 3 4 砂場、江口ー野々下

2BH：白岩、吉田（新町パ）、野田（奈多サ）盗塁：長濱（奈多サ）

大雨でややグラウンドが柔らかい状態ながら無事に試合開始となった雁レク7。先制したのはパイレーツ。二回表、先頭の吉田選手が二塁打を放つとさらにワイルドピッチで三塁に進む。続く八坂選手のセカンドゴロの間にホームに帰り1点。三回表パイレーツは四球と打撃妨害で二死満塁のチャンスに吉田選手のセカンドゴロが相手失策となり2点を追加する。対する奈多サンデーズは三回裏、先頭の砂場選手がライト前ヒットで出塁し続く江口選手の送りバンドで二塁へ進むと、ワイルドピッチと悪送球で1点を返す。パイレーツが五回に1点を追加し3点差で時間切れもせまった最終回。攻撃を迎えるサンデーズは一死後、宮口選手が相手失策で出塁、続く木下選手がセンター前ヒットで続く。二死となり田中選手の打球は一塁ゴロで試合終了かと思われたがこれが失策となり走者一人生還し2点差とする。二死一三塁となり続く打者は代打野田選手。2ストライクと追い込まれるも見事右中間へ二塁打を放ち、なんと土壇場で同点に追いつく。さらに満塁と一打逆転サヨナラのチャンスであったが、攻撃もここまで。4-4の引き分けとなった。パイレーツは最終回2つの痛すぎる失策で手中に収めかけた勝利を失った。（記事：写真：ソルトベイスターズ 田中 裕次郎）



奈多サンデーズ先発の砂場投手。



粘り強いピッチングの和白新町パイレーツの吉田投手。



機敏なサンデーズ内野守備陣。



フライをキャッチするサンデーズ山田右翼手。



フライをランニングキャッチするサンデーズ江口二塁手。



強いゴロを難なく捌くサンデーズ田中三塁手。



果敢に盗塁を決める長濱選手。



二回表、二塁打を放ったパイレーツ吉田選手。



五回裏からリリーフのサンデーズ江口投手。



六回裏二死、江口選手の当りは内野安打に。



華麗なスローイングをみせるパイレーツ白岩遊撃手。



最終回、懸命に守るも。



最終回、代打で同点打を放ったサンデーズ野田選手。



野田選手の打球に飛びつくパイレーツ田村二塁手。



逆転サヨナラを阻止するパイレーツ八坂三塁手。

奈多グラウンド フェニックス、序盤のリードを投手リレーで逃げきる！

レッドサンデーズ（3勝3敗） 1 0 0 0 2 0 0 3 土師●、塚本一八島

奈多フェニックス（3勝2敗） 2 1 1 0 2 0 × 6 太田○、今林（勇）一実延（新）

2BH：八島（レッド）能丸、香山（奈多フ） **HR**：安藤（奈多フ） **盗塁**：川原（正）、近藤（レッド）

レッドサンデーズは一回表、先頭の一番川原（正）選手が内野安打で出塁すると続く二番近藤選手が三塁前への犠打を成功させる。すると送球の間に一塁走者の川原（正）選手の好走塁により三塁を陥れ、理想的な攻撃で好機を演出。その後、相手投手の暴投で走者が生還しレッドサンデーズが先制点を挙げる。幸先良く先制したレッドサンデーズであったが、奈多フェニックス先頭の一番高原選手を四球で出塁を許すと続く二番福島選手の内野安打で無死一三塁とされてしまう。すると暴投で走者が生還し同点にされ、一死三塁から四番安藤選手の犠飛であっさり逆転を許してしまう。フェニックスはその後も得点を重ね、試合のペースもフェニックスのものかと思われたが、五回表レッドサンデーズは一死二塁から二番近藤選手の内野安打に相手野手の悪送球で1点を返すと続く三番八島選手の三塁強襲の二塁打で1点差に詰め寄る。しかし、この回から登板したフェニックス今林（勇）投手が後続を断ちきる。するとフェニックスはその裏、二死三塁から四番安藤選手のこの日3打点目となる2ランHRで決勝点を叩き出す。その後はフェニックス今林（勇）投手が二塁を踏ませない投球で序盤のリードを守りきったフェニックスが今季三勝目を挙げた。（記事・写真：雁の巣ライナース 明瀬 旭）



奈多フェニックス先発の太田投手。



レッドサンデーズ先発の土師投手。



一回表、レッド三番八島選手の中飛。犠飛にはならず。



一回裏、同点のホームを踏むフェニックス高原選手。



二回裏、二塁打を放つフェニックス八番香山選手。



三回裏、適時二塁打を放つフェニックス五番能丸選手。



フェニックス二番手の今林（勇）投手。



レッドサンデーズ二番手の塚本投手。

青松園B 塩浜ジャガーズ 久保田選手の2ホームーの大活躍で快勝！

三友クラブ (6敗) 2 0 0 0 0 0 2 矢野●、足達一西田

塩浜ジャガーズ (2勝4敗) 1 0 4 2 0 × 7 立石○ー橋村

HR: 久保田2 (塩浜ジ) 2BH: 中内 (三友ク) 盗塁: 松尾、西田 (三友ク)

初回、三友クラブは四球やPBでチャンスを作ると、立ち上がりの不安定な立石投手を攻め、Wスチールを絡め2点を先取。続く6番福井選手のヒットで二塁走者の西田選手が三塁を回ったところで大転倒！1点がこぼれ落ちてしまった。ジャガーズもその裏、相手の失策やPBなどで1点を返し追従する。大きく試合が動いたのは四回裏、先頭の稲富選手がセーフティーバントを仕掛け、中内三塁手が体制を崩しながら必至に送球を行うが惜しくもセーフ。続く久保田選手がセンターを破る2ランを放ち追加点。ジャガーズはこの回打者一巡で一挙4点。勢いは五回にも継続し、稲富選手が相手失策で出塁すると、またもや久保田選手が二打席連続の2ランを放ち試合を決めた。振り返ると、三友クラブにとって初回の走塁ミスが最後まで尾を引いたのかもしれない。しかし今日のヒーローはまぎれもなく2HRを放った久保田選手だろう。(記事・写真: 三笠フレンズ 肥喜里 一征)



二回表、三友クラブ大坪選手が必死に内野安打を掴む。



三回裏、惜しくも内野安打となるもナイスプレーの西田三塁手。



三回裏、大きな2ランホームランを放つ久保田選手。



三回裏、レフトヘタイムリーを放つ山口選手。



四回表、二死満塁の場面でピックプレーの石内選手。



四回裏、本日2本目のホームランを放つ久保田選手。



六回表、堅実な守備を繰り返す稲富選手。



六回表、三塁線へ強烈な二塁打を放つ中内選手。



六回4安打2失点の完投勝利立石投手。



本日2ホームーと大活躍のジャガーズ久保田選手。

青松園Aブルーマーリンズ 対 奈多クラブ戦は、グラウンド不良のため中止です。

第11週編集後記

WSLの皆さん、こんにちは！

第11週、7月8日は3試合が行われました。

青松園Aのブルーマーリンズ対奈多クラブ戦はグラウンド不良で中止でした。

雁レク7の和白新町パイレーツ対奈多サンデーズ戦は、パイレーツが五回まで優勢に試合を進め3点差で迎えた最終六回裏、エラーからランナーを溜めると、二死からまたもエラーで失点。そして膝の靭帯断裂の大怪我の手術から、いまだリハビリ中のサンデーズ野田選手が意地の代打同点二塁打を打ちサンデーズが辛くも4-4の同点に持ち込んだ。

奈多グラウンドのレッドサンデーズ対奈多フェニックス戦は、どちらもエースの先発でない試合。そこで四回1失点のフェニックス太田投手の好投が光った。五回表に好投の太田投手から今林勇太投手に代ったところを攻め1点差としたレッドだが、その裏フェニックス四番安藤選手がレッド二番手塚本投手のチェンジアップを狙い打ちの2ランで試合を決め3-6でフェニックスの勝利。どちらのエースも遅れてきたことにより、イマイチな出来だった。

青松園Bの三友クラブ対塩浜ジャガーズ戦は、未だ勝ち星の無い三友クラブが、一回表足を絡め2点を上げるも、足が絡んだ西田選手が追加点を自ら阻んだ。しかし二回以降はランナーを溜めるもジャガーズが立石投手を中心に守り点を与えない。するとジャガーズ一番久保田選手の二打席連続HRなどで一気に逆転して、2-7でジャガーズの勝利。三友クラブは10残塁が響いた。

夏の甲子園予選も進み、強豪校が早くも破れるという波乱も起きています。

どのチームも集大成として最後の夏に臨んでいます、中には奇跡を起こすチームもあります。

しかし私は、奇跡はそれまでの準備や真摯に野球に取り組む姿勢が、「運」を呼び込んで起こるものだと思います。

WSLでもチーム力の差はあれど、遅刻しない、きちんと連絡をする、道具を大切に使う、体調を整える、グラウンドを綺麗にする、ポイ捨てはしない、相手を思いやるなど、野球人・ソフトボール人として社会人としてのモラルを大事にしてほしいです。